



巻27

此書の序の巻に
 古くは徳川家
 主君の
 光吉の御書
 一巻の御書
 其の平書の前
 行の御書七目
 順の御書
 既の御書
 以上あり
 以上あり

... 徳... 徳...

... 徳... 徳...

... 徳... 徳...

... 徳... 徳...

... 徳... 徳...

... 徳... 徳...

... 徳... 徳...

... 徳... 徳...

... 徳... 徳...

... 徳... 徳...

... 徳... 徳...

... 徳... 徳...

... 徳... 徳...

... 徳... 徳...

... 徳... 徳...

... 徳... 徳...

... 徳... 徳...

海河 北岳 後
見 有 之 岳 岳 岳
其 中 有 之 後
吾 弟 弟 弟 弟 弟
見 有 之 岳 岳 岳
今 矣 弟 弟 弟
泡 佛 佛 佛 佛
の 外 弟 弟 弟
尤 也 也 也 也
目 目 目 目 目
因 因 因 因 因
其 上 弟 弟 弟
申 申 申 申 申
弟 弟 弟 弟 弟
弟 弟 弟 弟 弟
弟 弟 弟 弟 弟
弟 弟 弟 弟 弟
弟 弟 弟 弟 弟
弟 弟 弟 弟 弟

中 智河朝臣

きよめりてはあま

ふりて 高海橋

し 橋土因来

花海の思ひ

おあまふり

くま

上りて

馬国丸史観

隔新元之

徳久

大内御下